

どどえん太郎 様

AIキャリア分析レポート

— 人生の流れ構造の可視化 —



AIキャリア分析

2026.02.08

株式会社どどえん

0 このレポートについて	3
1 人生の流れの全体構造	4
2 繰り返し現れている「役割」	5
役割①：構造を理解して扱う人	5
役割②：間をつなぐ人	5
役割③：見えにくい部分を整える人	5
3 無意識に働いている判断軸	6
判断軸①：構造が通っているか	6
判断軸②：意味があるか	6
判断軸③：自分の裁量があるか	6
4 自然に発生している強み	7
特性①：俯瞰して捉える力	7
特性②：構造を分解して理解する力	7
特性③：流れの滞りを察知する感覚	7
5 流れとのズレが起きた場面	8
起きやすい状況：	8
その時の選択傾向：	8
感情の動き：	8
6 現在のモヤモヤの構造	9
7 これからの流れの向き（ヒント）	10
・活きやすい環境の特徴	10
・活きやすい関わり方	10
・エネルギーが循環しやすい状態	10
8 このレポートの使い方	11
🌱 どどえんより	11
ここに書かれていることは、	11
新しく加えたものではなく	11
すでにあなたの中にあつた流れです。	11

キャリア分析

0 | このレポートについて

このレポートは、あなたの経験・選択・感覚の記述から

「これまでどんな流れの中を歩いてきたのか」を構造として可視化したものです。

これは診断でも評価でもなく、

あなたの中にすでに流れているものを
言葉として見える形にした資料です。



AIキャリア分析

1 | 人生の流れの全体構造

あなたの歩みは、大きく見ると

「現場で動く人」 → 「仕組みの内側を扱う人」 → 「全体を回す側」 →
「流れそのものを捉え直す地点」

という連続した構造を持っています。

初期は身体を使う作業や現場補助が中心。

その後、機器・システム・情報といった“目に見えにくい構造物”を扱う
仕事へ移行。

さらに、飲食店経営では、
技術・人・空間・お金・集客という複数要素を統合する側へ。

現在は、出来事そのものではなく

「**経験の意味の構造**」を扱う地点に立っています。

流れは常に

部分 → 構造 → 全体構造

へとスケールが拡張しています。

2 | 繰り返し現れている「役割」

役割①：構造を理解して扱う人

- SE業務
- ソフトウェア設計
- システムテスト
- 店舗運営の仕組みづくり

役割②：間をつなぐ人

- 客先説明
- 現地調整
- 営業と技術の間
- 店とお客様の間

役割③：見えにくい部分を整える人

- データ整理
- 障害対応
- 業務改善
- 裏側の調整業務

肩書きが変わっても

「流れが滞らないように整えるポジション」

が繰り返し出現しています。

3 | 無意識に働いている判断軸

判断軸①：構造が通っているか

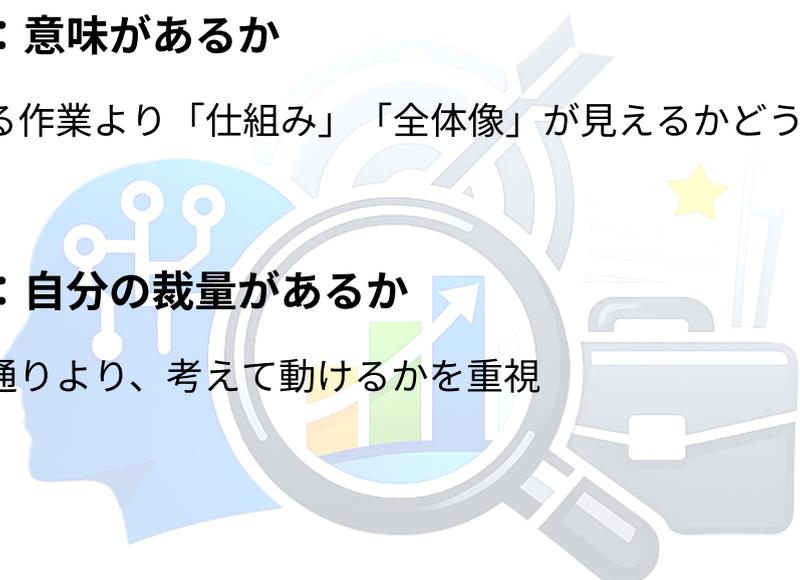
矛盾・非合理・曖昧さへの違和感が強い

判断軸②：意味があるか

単なる作業より「仕組み」「全体像」が見えるかどうか

判断軸③：自分の裁量があるか

指示通りより、考えて動けるかを重視



AIキャリア分析

4 | 自然に発生している強み

特性①：俯瞰して捉える力

全体構造を見る視点

特性②：構造を分解して理解する力

仕組み・システム・関係性の把握

特性③：流れの滞りを察知する感覚

違和感への感度



AIキャリア分析

5 | 流れとのズレが起きた場面

起きやすい状況：

- 指示待ち環境
- 非合理的ルール
- 役割が固定されすぎる環境

その時の選択傾向：

内側で違和感が蓄積し、距離を取る方向へ

感情の動き：

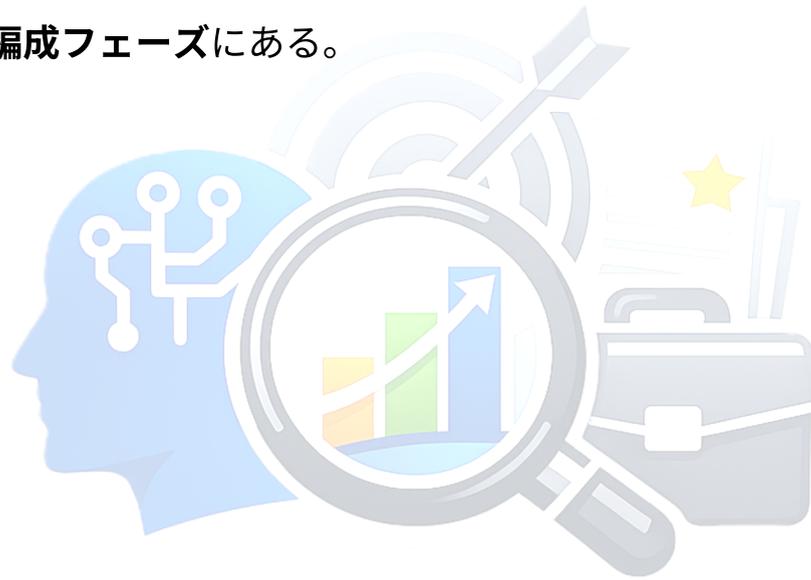
納得できなさ → 消耗



AIキャリア分析

6 | 現在のモヤモヤの構造

これまで外側の構造を扱ってきた流れが、
今は**「自分自身の流れの構造」**に向いている状態。
外に適用してきた視点が内側に反転しており、
流れが止まっているのではなく
構造の再編成フェーズにある。



AIキャリア分析

7 | これからの流れの向き（ヒント）

- **活きやすい環境の特徴**

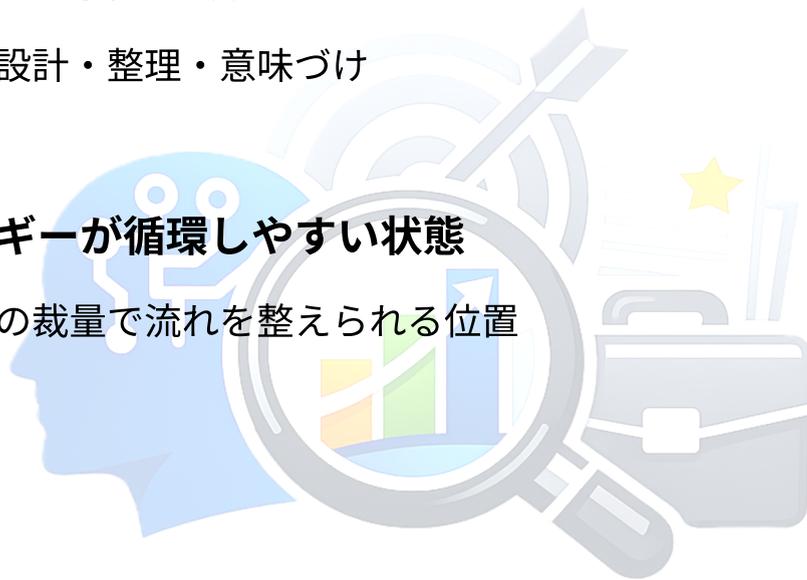
構造理解が求められる領域

- **活きやすい関わり方**

全体設計・整理・意味づけ

- **エネルギーが循環しやすい状態**

自分の裁量で流れを整えられる位置



AIキャリア分析

8 | このレポートの使い方

この資料は「答え」ではなく、
あなた自身が流れを見直すための鏡です。
読み返すたびに、
違う箇所が響くことがあります。
それが、流れが動いているサインです。

どどえんより

ここに書かれていることは、
新しく加えたものではなく
すでにあなたの中にあつた流れです。

ご自身では、**AIキャリア分析**
気づいていない流れを感じ取れたなら、幸いです。